

ワークショップ1_初級者向けプロセス領域

2018年4月20日

日本SPICEネットワーク委員会

回	対象プロセス領域			開催場所	年度
1	構成管理	問題解決管理	変更依頼管理	名古屋	18
2	ソフトウェア要件分析	ソフトウェア適格性確認テスト	ソフトウェアアーキテクチャ設計	東京	18
3	プロジェクト管理	製品リリース	品質保証	大阪	18
4	システム要件分析	システム適格性確認テスト	要件抽出	名古屋	19
5	ソフトウェアアーキテクチャ設計	ソフトウェア統合および統合テスト	再利用プログラム管理	東京	19
6	システムアーキテクチャ設計	システム統合および統合テスト	共同レビュー	大阪	19
7	ソフトウェア詳細設計およびユニット構築	ソフトウェアユニット検証	サプライヤ監視	名古屋	20
8	構成管理	問題解決管理	変更依頼管理	東京	20
9	ソフトウェア要件分析	ソフトウェア適格性確認テスト	ソフトウェアアーキテクチャ設計	大阪	20

- 対象プロセス領域は、進行によって見直すことがあります。
- プロセス名は、Automotive SPICE Ver.3.1 を参考にしています。

- プロセスについて初級者向けに討論しやすい場を提供する。
 1. 一回の定例会で三種類のプロセス領域から選択できるようにする。
 2. 年間の三回の定例会で、受講者は三つのプロセス領域について討論することができる。
 3. このサイクルを複数年回す。複数年回すことで同一受講者のプロセス領域の選択の幅を増やす。
 4. 発表は、三種類のプロセス領域の発表があるようにする。つまり受講者は自分が選択した以外のプロセスの内容も共有することができる。

5. 組み合わせは、以下の四つの考え方に基づく
 - ① 設計を行う上で重要な管理プロセスの構成管理/問題解決管理/変更依頼管理はまとめる。
 - ② エンジニア系プロセスは、設計とテストのペアとする。
 - ③ エンジニア系は、V字の順であれば、システム領域からであるが、難しい面もあり、先にソフトウェア領域を行い、その後にシステム領域を行うようにした。ソフトウェアからシステムへ上げた方が自分の業務をイメージし易いし、スコープも絞りやすい。
 - ④ 製品出荷に繋ぐ、プロジェクト管理/製品リリース/品質保証はひとまとめとした。
6. 第5・6・7回は、5項②に沿ってエンジニアリングプロセスに紐つけて配置した。再利用の単位かなと思われるところに「再利用プログラム管理プロセス」、サプライヤ監視プロセスと共同レビュープロセスは、より近い側のプロセスに寄せた。

以上です

